

8月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和5年8月24日(木)
開催日時	午後3時00分
開催場所	別館3階大会議室
出席委員	職務代理者 木下 靖郎 委員 諫本 憲司 委員 古田 嘉寿美 委員 佐々木 美徳 委員 荒川 富士子
出席参与	教育次長 高倉 保徳 教育総務課長 瀬口 英隆 学校教育課長 阿部 一徳 社会教育課長 信岡 謙介 淡窓図書館長 穴井 健生 文化財保護課長 吉田 博嗣 スポーツ振興課長 梶原 秀一 学校給食課長 本川 明
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 渡辺 寛幸
附議議案	議案第43号 令和5年度日田市一般会計補正予算教育費について 議案第44号 日田市学校運営協議会委員の任命について 協議事項1 表彰選考審査会委員の推薦について 協議事項2 日田市総合計画審議会委員の推薦について 報告第14号 令和5年度日田市一般会計補正予算教育費(災害対応に係る専決処分)について 報告第15号 令和5年7月期寄附採納について 報告第16号 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 報告第17号 令和5年度大分県学力定着状況調査結果について 報告第18号 日田市立淡窓図書館窓口業務等委託業者の選定について

木下職務代理者	<p>ただいまから8月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに、7月定例及び臨時教育委員会の議事録の確認でございますが、内容等に変更はございませんでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただけましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長及び教育長職務代理者の一般報告につきましては、お手元に配付しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入ります。</p> <p>議案第43号について説明をお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>議案第43号 令和5年度日田市一般会計補正予算教育費についてでございます。</p> <p>別冊1の資料によりご説明いたします。</p> <p>今回の補正は6月補正後の教育費予算の総額40億2,159万6,000円に、梅雨前線による大雨に係る災害に対応するため、応急復旧費用の専決処分を行った7月補正予算で4,755万7,000円を追加、9月補正予算で79万2,000円を追加し、補正後の総額を40億6,994万5,000円とするものでございます。</p> <p>各事業の補正予算の概要につきましては、担当課からご説明させていただきます。</p>
社会教育課長	<p>別冊1の1ページをご覧ください。</p> <p>事業名は、地域デジタル活用支援事業でございます。</p> <p>新規事業でございます。補正要求額は79万2,000円でございます。</p> <p>事業内容は、市民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できますよう、気軽にスマホ教室等を受講できる環境を整える必要があることから、地区公民館においてスマホ教室やパソコン教室を開催するため、開催に係る経費について予算要求するものです。</p> <p>また、中央公民館では、公民館職員等を対象とした指導者向けの教室を開催し、地域でスマホ等の操作を教えることができる人材の育成を図るものでございます。</p> <p>地区公民館で行う地区住民を対象としたスマホ教室やパソコン教室については、13地区で延べ74回、1回当たり2時間の開催を予定しています。</p>

	<p>中央公民館で行います公民館職員等を対象とした指導者向けの教室については、中央公民館の主催で2回、各15名程度の開催予定でございます。</p> <p>スケジュールにつきましては、予算議決後、10月に地区公民館と委託契約を行い、事業を行う予定です。</p> <p>事業費としまして、公民館職員を対象とした指導者向けの教室に係る経費として30万3,000円、内容は講師の謝礼になります。</p> <p>それから、地区公民館で行うスマホ教室等に係る経費としまして48万9,000円、内容は同じく講師の謝礼等になります。</p> <p>財源は全て国庫補助金の情報通信技術講習事業費補助金でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>学校給食課長</p>	<p>別冊1の2ページをお願いいたします。</p> <p>繰越明許費の補正でございます。</p> <p>今年度、学校給食センターの大規模施設設備更新事業として、食缶類消毒保管庫の更新をするようにしておりましたが、今年度に入り、入札の準備をしていく中で、電子機器やモーター類が8月の納期までに間に合わないという状況が判明いたしました。</p> <p>今回、この更新費用にかかります5,500万円について、令和6年度に繰越明許をお願いするものでございます。</p> <p>今後のスケジュールでございますが、9月議会の議決後、11月に入札を開始し、それから業者は製造を始めまして、設置を来年の8月中ということで進めていきたいと思っています。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>木下職務代理者</p>	<p>ただいまの説明について、何かご質疑はございませんでしょうか。</p>
<p>諫本委員</p>	<p>関連の質問ですが、地区公民館のWi-Fiはどうなっていますか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>地区公民館でWi-Fi環境が整っている箇所もあれば、まだ未整備のところもあります。そういったところについては、Wi-Fi環境の整備を今年度中にできればと考えております。</p>
<p>木下職務代理者</p>	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>議案第43号につきましては、原案のとおり可決してもよろし</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>いでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第43号は、原案のとおり可決されました。</p> <p>次に、議案第44号について説明をお願いいたします。</p> <p>議案第44号 日田市学校運営協議会委員の任命についてでございます。</p> <p>議案集の2ページをお願いいたします。</p> <p>日田市学校運営協議会委員の任命につきましては、本年4月期及び5月期定例教育委員会において、お諮りしたところですが、その後、委員に異動が生じたため、日田市学校運営協議会規則第8条の規定に基づき、新たに1協議会1名の方の任命についてお諮りするものでございます。</p> <p>今回は、石井小学校の学校運営協議会委員として、新たに地区主任児童委員に選任された新田なをみ氏について、(2)対象学校の通学区域の地域住民として推薦がありました。</p> <p>3ページは、日田市学校運営協議会規則を参考として付けております。</p> <p>4ページをご覧ください。石井小学校の名簿の6番に網掛けで示しております手島千恵氏が今回退任される方です。</p> <p>なお、本日お諮りする方の任期は、令和5年8月1日から令和6年3月31日までとなっております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>木下職務代理者</p>	<p>ただいまの説明につきまして、何かご質疑はございませんでしょうか。</p> <p>議案第44号につきまして、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第44号は、原案のとおり可決されました。</p> <p>議案については、以上でございます。</p> <p>次に、協議事項について説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>協議事項1の表彰選考審査会委員の推薦についてでございます。</p> <p>議案集の5ページをお願いいたします。</p> <p>表彰選考審査会の委員となっております佐々木委員の任期が、本年9月30日をもって満了しますことから、後任の委員の推薦につきまして、市長部局より、8月15日付けで依頼を受けたところでございます。</p> <p>6ページをご覧ください。</p>

	<p>根拠条例を掲載しておりますが、第2条に規定しておりますとおり、表彰選考審査会は、市政功労者及び善行者の候補者の選考について、市長の諮問に応じ調査審議するために設置するものでございます。</p> <p>任期につきましては、日田市表彰条例第4条に基づき、1年間となっております。令和5年10月1日から令和6年9月30日まででございます。</p> <p>7ページに現在の委員名簿を掲載しております。</p> <p>教育委員会から1名の推薦依頼でございますので、佐々木美徳委員の後任の推薦についてご協議をお願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
木下職務代理者	<p>ただいま説明がありましたとおり、表彰選考審査会委員の推薦依頼ということですが、どなたかご推薦いただければと思います。いかがでしょうか。</p>
諫本委員	<p>昨年度は佐々木委員になっていただきましたけれども、内容のこともありますので、できれば引き続きお願いしたいと思っております。</p>
木下職務代理者	<p>佐々木委員、いかがでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>お受けいたします。</p>
木下職務代理者	<p>ご了承いただきましたので、佐々木委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、事務局の方で推薦の手続をお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>引き続き、協議事項2の日田市総合計画審議会委員の推薦についてでございます。</p> <p>議案集の8ページをお願いいたします。</p> <p>日田市総合計画審議会の委員となっております諫本委員の任期が本年9月29日をもって満了しますことから、後任の委員の推薦につきまして、市長部局より、8月16日付けで依頼を受けたところでございます。</p> <p>9ページをご覧ください。</p> <p>根拠条例を掲載しておりますが、第3条に規定しておりますとおり、総合計画審議会は、日田市総合計画の策定及び日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関し必要な事項について</p>

	<p>て、市長の諮問に応じ、審議・答申を行うために設置するものでございます。</p> <p>任期につきましては、日田市総合計画審議会第5条に基づき、委嘱の日から2年間でございます。</p> <p>10ページに現在の委員名簿を掲載しております。</p> <p>教育委員から1名の推薦依頼でございますので、諫本憲司委員の後任の推薦についてご協議をお願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
木下職務代理人	<p>ただいまのご説明のとおり、日田市総合計画審議会委員の推薦を依頼されているということですが、どなたかご推薦いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>総合計画は大変重要な会議でありますので、諫本委員に引き続きお願いできればと思います。</p>
木下職務代理人	<p>諫本委員、よろしいでしょうか。</p>
諫本委員	<p>はい、分かりました。</p>
木下職務代理人	<p>ご了承いただきましたので、諫本委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、事務局の方で推薦の手続をお願いいたします。</p> <p>協議事項については、以上でございます。</p> <p>続いて、報告事項について説明をお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>議案集の11ページをお願いいたします。</p> <p>報告第14号 令和5年度日田市一般会計補正予算教育費、災害対応に係る専決処分についてでございます。</p> <p>別冊2の資料によりご説明いたします。</p> <p>令和5年7月27日付けで、災害対応に係る専決処分を行った7月補正予算の概要についてでございます。</p> <p>資料の1ページをお願いいたします。</p> <p>No.1 公立学校施設災害復旧事業についてでございます。</p> <p>本事業は、7月の梅雨前線に伴う大雨により被害を受けた学校施設の災害復旧事業でございます。</p> <p>今回の補正予算では、小野小学校、大明小中学校、朝日小学校、いつま小学校の災害復旧費用として、3,446万6,000円を新規に計上するものでございます。</p>

資料の2ページをご覧ください。

小野小学校につきましては、小野川の氾濫により校舎が一部床上浸水するとともに、グラウンドが冠水いたしまして、校舎周りや床下、グラウンドに堆積した土砂と流木などの撤去費用を含め、2,524万6,000円の補正予算を計上しております。

現在、校舎周りやグラウンドの土砂撤去作業、また、校舎床下の土砂撤去作業等、概ね完了しております。

若干、作業が必要な部分がありますが、8月25日には無事に始業式を迎えることができる見込みでございます。

資料の3ページをご覧ください。

大明小中学校につきましては、正門側の道路が冠水し、学校敷地内に流木や土砂が流入するとともに、正門側の学校敷地に隣接する水路が溢れ、校舎周辺及びグラウンドが冠水いたしました。校舎周り及びグラウンドに堆積した土砂と流木などの撤去費用を含め、854万円の補正予算を計上しております。

現在、校舎周りやグラウンドの土砂撤去作業等は、概ね完了しているところでございます。

資料の4ページをご覧ください。

朝日小学校につきましては、校舎北側に隣接している水路に流木が詰まり、学校敷地内に流木や土砂が流入するとともに、特別教室等の床下換気口から土砂が流入し、床下浸水をいたしました。校舎周り及びグラウンドに堆積した土砂と流木の撤去費用を含め、40万7,000円の補正予算を計上しております。

現在、校舎周りの土砂撤去と特別教室棟床下の土砂撤去及び消毒作業等は、全て完了しているところでございます。

資料の5ページをお願いいたします。

いつま小学校につきましては、校舎敷地に隣接する畑からスクールバス車庫内に土砂が流入しましたことから、撤去費用と土砂流入を防ぐためにブロックで囲いを設置する費用として、27万3,000円の補正予算を計上しております。

現在、スクールバス車庫内の土砂の撤去とブロック囲いの設置作業等は、全て完了しております。

資料の1ページにお戻りください。最後に財源についてでございます。国の公立諸学校建物其他災害復旧費負担金が2,279万4,000円、公立学校施設災害復旧事業債が840万円、差額の327万2,000円を災害対策基金繰入金としております。

私からは以上でございます。

<p>社会教育課長</p>	<p>続きまして、6ページ及び7ページをお願いいたします。 小野公民館に係る災害復旧事業でございます。 7月の大雨により河川が氾濫しまして、小野公民館周辺の駐車場、ゲートボール場、それから浄化槽等に土砂が流入したため、復旧に係る費用について、148万6,000円を補正予算として計上するものでございます。 経費といたしまして、浄化槽内の土砂収集・運搬委託料として38万6,000円、駐車場及びゲートボール場の土砂撤去及び土の入替えに係る経費として110万円でございます。 進捗状況ですが、7月15日から17日にかけて駐車場の土砂撤去作業、それから7月26日と27日にゲートボール場の土砂撤去を行い、復旧工事を完了しております。 また、浄化槽内の土砂収集についても8月9日に実施し、完了しております。 財源につきましては、全て災害対策基金の繰入れとなっております。 詳細な状況については、7ページの図面をご覧ください。 以上でございます。</p>
<p>文化財保護課長</p>	<p>資料の8ページです。 No.3公共文教施設災害復旧事業でございます。 対象となる文化財は、行徳家住宅です。 行徳家住宅の西側の斜面が崩壊し、行徳家住宅の敷地内への土砂の流入がございました。 東屋の倒壊や石段の崩落等が生じたため、土砂の撤去や倒壊した東屋及び石段の解体・撤去など、工事を行うものでございます。 事業のスケジュールといたしましては、9月に東屋の解体・撤去、10月から12月にかけて土砂撤去及び石段の解体・撤去、1月から2月までの間に2次災害を防ぐための土嚢設置を考えております。 工事請負費につきましては、891万円を補正として計上したところでございます。 財源の内訳は、繰入金1万円、地方債が890万円となっております。 以上でございます。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>資料の9ページをお願いいたします。 財津町スポーツ広場災害復旧事業でございます。</p>

<p>木下職務代理者</p>	<p>この広場の位置につきましては、資料の左下に示しておりますが、大雨により花月川が越水したことで、スポーツ広場内の土砂、特に写真にありますように、河川の護岸と広場の境が洗掘されたため、その洗掘部分の応急措置を行うものでございます。</p> <p>事業スケジュールといたしましては、既に業者へ発注しておりますが、7月28日から8月31日までを予定しております。</p> <p>補正の内訳は、工事請負費で269万5,000円、財源の内訳は、災害対策基金繰入金が9万5,000円、地方債が260万円となっております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>書 記</p>	<p>報告第14号につきまして、何かご質疑はございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、報告第15号について説明をお願いします。</p> <p>議案集12ページをお願いいたします。</p> <p>報告第15号 令和5年7月期寄附採納についてでございます。</p> <p>一般寄附の採納が、1団体1名、2件でございます。1件目が、神奈川県川崎市の石井聡様から咸宜園教育研究センターへ、石井南橋家伝来資料15点を咸宜園の調査研究に役立てていただきたいということで、ご寄附いただいたところでございます。</p> <p>2件目が、日本公衆電話会大支部様から市内各小学校へ、こども手帳1,970冊をご寄附いただいております。</p> <p>こども手帳は、社会のルールやエコを心掛けることなどを分かりやすくまとめた手帳で、小学生の子どもたちが危険から自らを守ること、エコやSDGsについて考えることに役立ててほしいということで、今回ご寄附をいただいたものでございます。</p> <p>7月につきましては、以上2件の寄附で、物品相当額は不明でございます。</p> <p>報告第15号につきましては、以上でございます。</p>
<p>木下職務代理者 諫 本 委 員</p>	<p>ただいまの報告につきまして、何かご質疑はございませんでしょうか。</p> <p>次回でかまいませんので、参考までにこども手帳を見せていただけませんか。</p>

書 記	<p>1冊であれば手元にありますので、定例会後にお持ちしたいと思います。</p>
木下職務代理者	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>次に、報告第16号及び第17号を一括して、ご説明をお願いいたします。</p>
学校教育課長	<p>報告第16号 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について、及び報告第17号 令和5年度大分県学力定着状況調査結果についてでございます。</p> <p>2つの報告案件につきましては、今後の取組が共通するものでございますので、一括して報告させていただきます。</p> <p>それでは、別冊3、報告第16号 令和5年度全国学力・学習状況調査結果についてをお願いいたします。</p> <p>1ページの調査の概要ですが、本年度の全国調査は、4月18日に実施しております。</p> <p>調査の対象学年は、市内小学校6年生516人と市内中学校3年生512人となっております。</p> <p>調査の内容につきましては、ご覧のような教科に加えて質問紙調査を行っております。</p> <p>具体的な内容につきましては、(4)にありますが、教科の学習については知識と活用を一体的に問う問題、質問紙調査につきましては学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート調査となっております。</p> <p>この後説明していく際の用語についてでございますが、正答率は、全設問に対して児童生徒が正答した割合、平均点をイメージしていただければよろしいかと思えます。</p> <p>それから全国比は、全国の平均正答率を100としたときの日田市の割合、全国調査の場合は偏差値が示されませんので、この全国比で100を上回れば全国平均以上、100を下回れば全国平均に及んでいないという見方をしていただければと思います。</p> <p>2の結果の概要です。</p> <p>小学校6年生につきましては、国語・算数ともに全国平均をやや下回るという結果となっております。</p> <p>全国比はそれぞれ99、97となっております。</p> <p>中学校3年生は、国語・数学・英語につきましては、全国を下回る結果となっており、全国比としてそれぞれ96、92、78となっております。</p> <p>この学年については、特に今回、数学と英語に課題が見られて</p>

おります。

2ページをお願いします。

小学校6年生、中学校3年生の過去5年間の平均正答率の全国比の推移を載せております。

小学校6年生につきましては、令和3年度、現在の中学校2年生と同じような状況となりました。

中学校3年生につきましては、3年度、4年度、5年度と少しずつ下降傾向ですので、全体的な対策を講じる必要があるかと考えております。

3ページをお願いいたします。

令和5年度の中学校3年生について、小学校6年生から結果の推移を分析したものでございますが、1番下は今年度の全国調査ですので、偏差値ではなく、全国比で表しております。

上から4つについては、1月に行っております市の調査結果、及び中学校2年生の4月に実施します大分県調査を並べて、偏差値を示しております。

網掛けが全国平均以上となります。

小学校6年生から徐々に網掛けが減少している状況ですが、この学年は数学・理科・英語に課題があることが伺えます。

具体的な手立てをとって学校を支援していきたいと考えております。

4ページをお願いします。

児童生徒のアンケート調査で網掛け部分が全国値より5ポイント以上上回っている箇所、赤枠は逆に全国値より5ポイント以上下回っている箇所を示しております。

(1)の3つ目「社会に対する意識・地域との関わり」ですが、ご覧のように大分県、全国をはるかに上回っているのが、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という部分です。

こういったところは、日田の子どもたちの良さであると思っております。コミュニティ・スクールも全校で導入していますので、地域との関わりについては非常に高い数値を示しております。

5ページをお願いします。

(2)の教科の学習に関する回答状況ですが、国語、算数・数学、英語について、共通して表の1番下の項目を見ていきます。

5ページの国語の表の1番下、「解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」という質問です。

全て最後まで書こうと努力したかという問いです。

ここについては、国語は小6、中3ともに全国を上回っており

ます。

同じく、5ページの算数・数学に関することの表の1番下、「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたが、どのように解答しましたか」という質問です。

全てで最後まで書こうと努力したかという問いについて、ここも小6、中3ともに全国平均以上となっております。

6ページをお願いします。

英語に関することの表の1番下の質問について、中学校3年生は全国平均以下となっておりますが、国語や数学等を通じて粘り強く問題に取り組むという姿勢について、平均が非常に高かったことは、私たちとしては学校の指導も子どもたちの姿勢も評価したいと考えております。

つまり、日田市の子どもたちは、解答は頑張ったけれども、正解はしなかったという状況があるということでございます。

7ページをお願いいたします。

授業改善・学習指導の表の1番下、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」という質問は、小中ともに全国を下回っており、発表の形式的なことはできているのですが、いろいろな資料を活用して話を伝える、いわゆるプレゼンテーションのような活動が不十分であったのではないかと考えております。

同じく、7ページの6. クロス集計についてです。

このクロス集計は、教科の正答率と生活の様子に関連を調べたものです。

例えば、7ページの1番下の表、②児童生徒の就寝時刻と平均正答率の関係ですが、小学校の算数を見ても、全くしていない、つまり、就寝時刻が決まっていなと回答した児童生徒は、算数の平均正答率が42.9%だったということを示しております。

一方、毎日決まった時間に就寝している児童生徒は、算数の正答率が63.1%という結果です。

こういった傾向は、中学校3年生であっても、教科が変わってもほとんど変わりありませんでした。

今回、その上の段の①朝食については、明らかな関連性は見られませんでした。

中学校3年生の国語については、朝食を全く食べない子の方が

正答率が高かったという結果になっていますが、その他の教科については、やはり毎日食べていると生活習慣が安定し、正答率が高くなっているという状況が分かります。

8ページをご覧ください。

③児童生徒の読書の愛好度と平均正答率の関係でも、同様の傾向となっていることから、今後、学力定着に向けて、家庭の基本的な生活習慣の確立や親子読書の取組等、家庭・地域との連携によって習慣付けていくべきであるという視点は、大事であると考えております。

今回の調査では、④で塾や家庭教師の利用についても調査が行われました。コロナ禍が明けての質問紙の中で、初めての質問です。

参考として、日田市の児童生徒の状況を示しておりますが、学習塾や家庭教師の先生に教わっていないと回答した児童生徒の割合です。

日田市は小学校6年生が71.3%、中学校3年生は70.4%、つまり、日田市の児童生徒が塾や家庭教師の先生に教わっていない割合は約70%ということで、小学校と中学校がほぼ同じ割合ですので、もしかすると同じ子が小学校から中学校で、そのまま塾などで教わっているという可能性も考えられるという結果でありました。

全国と比べると、小学校6年生では約17%習っていない子が多く、中学校3年生では約31%も高いという状況になっており、学校教育以外の学びというものが、地域の状況によって大きく異なっていることを改めて認識したところであり、学校教育の重要性を再認識したところでもあります。

1番下のクロス集計を見ても、塾や家庭教師の先生に教わっていない児童生徒の平均正答率は、塾等に通う子よりも低く、学習内容が難しくなる中学校3年生では、かなり大きな差が見られます。

特に、今回課題のあった英語は、「1 教わっていない」つまり塾に通っていないと回答した生徒の正答率が、日田市の正答率36とほぼ同程度であり、「2 学校の勉強より進んだ内容や難しい内容を教わっている」生徒の正答率46.8%が、今回の全国正答率の46%とほぼ同程度であったことから、今回の英語の調査はかなり難易度が高く、日田市の中学生の全体的な正答率が低下したとも考えられると思っております。

9ページの7. 現状と分析については、先ほど報告したことが主になっておりますので割愛させていただきます。

最後に10ページから11ページです。

日田市教委としては、先ほど申しあげました塾等だけではなく、学校教育の中で児童生徒に確実に学力を定着させていくために、今後の取組につきまして、①から④までの4点を挙げております。

①については、4月から取り組んでいることの継続の徹底ですが、キーワードは、「分かった」「できた」が実感できる授業の推進や、学習内容が定着していない児童生徒への補充学習等を継続していくこととしています。

それから、11ページの②ですが、学校ごとの実態も変わりますので、分析については各学校別に地域の方、保護者の方を入れた学力向上会議で家庭にも報告し、各学校の実態に応じた改善策を講じるようにしております。

③の研究主任会については、9月中旬に県調査の結果も含めて、学校の授業改善と研究の主担当になります研究主任を集め、今後の方針や課題、成果として認められるところなどについて、共通認識を図っていき、今後の授業づくりの方法等、県教委と連携して指導していくこととしております。

最終的な検証については、④毎年1月に市独自の調査を行っておりますので、改善策を2学期から取り組み、改善が認められるかについて、1月結果で検証していくこととしております。

続いて、別冊4の報告第17号 大分県学力定着状況調査結果についてです。

1ページをお願いいたします。

調査についてですが、今年度は4月25日に実施し、調査対象学年は、市内小学校5年生494人、市内中学校2年生471人となっております。

内容につきましては、教科の学習到達度調査がご覧のような教科で、全国調査同様、総合質問紙調査も行われております。

用語の説明ですが、県調査は全国調査と違って偏差値で示しておりますので、概ね50であれば、全国平均並みとご認識ください。

調査結果につきまして、まず、小学校5年生です。

国語・算数・理科の教科全体、また、知識や活用といった項目全てにおいて、全国平均を超えており、県の平均とほぼ同程度という状況でございます。

次に、中学校2年生です。

国語については、偏差値50となっておりますが、社会・数

学・理科・英語については、50を下回るという結果になっております。

2ページをお願いいたします。

小学校5年生及び中学校2年生の5年間の推移ですが、小学校5年生については、毎年度、大体51以上を超え、安定した状況でございます。

中学校2年生は、年々50を下回る教科が増えている傾向です。

先ほど報告しました全国調査と併せ、日田市は問題の難易度が上がる小学校6年生から中学校にかけて、学力の定着に課題が見られるという状況であると考えております。

3ページをお願いいたします。

小学校5年生と中学校2年生で、色付きの網掛け部分が全国値以上となっております。

まず、1番上の表の自己認識・社会性等です。

表の上から2つ目、「自分にはいいところがあると思いますか」という自己肯定感について、全国平均より下回っていることがやや気になるところであります。

同じ表の下から2番目、「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか」という質問については、かなりの割合で県平均と全国平均を超えております。

先ほどの全国調査と併せて、地域との連携ができていているということは、地域から大事にされており、日田の子どもたちに共通する強みと考えております。

同じ表の1番下、「クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか」という問いに対しては、中学校2年生は、「ない」「ほとんどない」と回答した生徒が40%弱だったことから、多くの中学校で授業に集中する雰囲気づくりが課題となっていることが見てとれました。

次に、生活習慣・家庭での学習習慣に関する表の1番下の質問をご覧ください。

テレビやDVD、テレビゲーム、インターネットの利用が2時間未満の割合が出ています。

この数値が低いということは、2時間以上の割合が高いということになりますが、小6、中3と同じように、小学校5年生、中学校2年生は、全国よりもゲームをしている、テレビを見ているという状況がありますので、メディアコントロールは今後の家庭学習のカギとなり、家庭との連携はとても重要になってくると考

<p>木下職務代理者</p>	<p>えております。</p> <p>4ページをお願いします。</p> <p>上段の表は、教科に関することが好きか、又は分かっているかを聞いたものです。</p> <p>その時々の方の学年の特色もありますが、今年の方の小学校5年生については、学習意欲が高い、又は教科が好きと答える子が多かったという傾向です。</p> <p>教科が好きということについては、学力調査の結果と連動する部分もあるのではないかと考えています。</p> <p>下段の方の授業での学習状況についても、小学校5年生は、授業の中で課題が示されていると思う割合や、課題に対して話し合いながら発表などの学習活動に取り組んでいると感じている割合が高いことが分かります。</p> <p>全国調査の結果や中学校2年生の結果から、「分かる」「できた」が実感できる授業の推進により、教科が好きという児童生徒を育成していくことが必要と感じております。</p> <p>小学校5年生も中学校2年生も共通して、授業での学習状況に関する下段の方の表の上2つの質問、「自分の意見を積極的に発言していますか」「ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか」という意識は、全国平均を超えており、先生方の指導の努力がここに表れていると感じています。</p> <p>授業改善については、経験年数の浅い教職員が増えてきていることから、県教委とも連携して、先ほど申し上げました研究主任会等を活用して、私たちが学校現場を支援していく必要があると考えております。</p> <p>5ページです。</p> <p>小学校の成果と課題について、プラスの評価と課題の評価を一覧表にまとめ、学校にも提示しております。</p> <p>6ページをお願いします。</p> <p>中学校も同様に、成果と課題を抜き出し、学校に示しているところでは。</p> <p>最後の7ページには、今後の取組として①と②を示しておりますが、先ほどの全国調査の今後の取組の③と④も含めて、私たちが学校現場を指導、支援していくこととしております。</p> <p>報告は以上でございます。</p> <p>ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんでしょうか。</p>
----------------	---

<p>諫 本 委 員</p>	<p>比較すること自体は、個人的にはそれほど重要と思っていないのですが、報告を聞くと、小学生から中学生に進むにつれて平均値が下がってきている。</p> <p>同一集団でもそういう状況が見られるということなので、やはり改善の余地があるのだらうと思います。</p> <p>豊後高田市だったかと思いますが、OBの先生たちが、放課後に学校で生徒をフォローするという事例があったと思うのですが、そのことについて分かれば教えて欲しいのと、そういった学校ごとの先生方が個人に対してフォローすることができるのかということをお聞かせください。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>小学校から中学校に向けてというところですが、これまでは研究主任会を小中学校合同で行っていたのですが、今回はそれぞれの課題を考えていくために、小中別に開くことにしています。</p> <p>それから、豊後高田市の取組につきましては、私も詳細には把握しておりませんが、市が塾として、OBや講師を配置して中学生に向けて授業を行う、補充を行うという取組だったと認識しております。</p> <p>日田市でも各中学校において、休道水曜塾として、OBの方や地域の方に入ってもらって、主に数学を月2回、希望者を対象に学習する取組を行っているところでございます。</p> <p>コロナ禍ではストップしておりましたが、現在再開したところです。こういったところでは、先ほど申し上げました地域力というのは日田市の一つの大きな武器であると捉えておりますので、地域の人材を活用し、こういった方々の協力を得ながら、先生方と地域、家庭と一緒に子どもたちの力を付けていきたいと考えています。</p>
<p>諫 本 委 員</p>	<p>OBの方や地域の方の力をお借りするということは、本当にいいことだと思います。</p> <p>豊後高田市が塾みたいな形で、それぞれの学校で、それぞれの子どもたちの弱いところをフォローしているのではないかと受け取っていたのですが、内容が分かたらまた教えていただきたいです。良いことであれば真似しても構わないと思いますし、そのあたりは考えていただければと思います。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>他市の良いところなどは、好事例として、今後も参考にしていきたいと考えております。</p>

荒川委員	<p>別冊3の4ページにある「新聞を読んでいますか」ということに関して質問です。</p> <p>学校では新聞が読める場所、例えば図書室とか校長室等に置いているのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>新聞については、学校の図書室に置かれており、子ども新聞など、子どもたちが新聞に親しむ機会があります。</p> <p>ただ、全国的に新聞を取っている家庭が10%を切ってきているという状況の中、新聞を読んでいますかということについて、新聞を読む機会の提供は、今後、学校においても子どもたちが手に取れるような場所に置くという取組が必要になってくると感じています。</p>
荒川委員	<p>なぜ質問したかと言いますと、私が昔、就職試験を受けるときに3年分の新聞を読み返したことがあります。社会事象に詳しくないと、一般の会社には通用しないということが分かったので。</p> <p>4ページの数値を見ると、小学生は全国平均よりも半分ぐらい、中学生も低いですね。</p> <p>言語化するためには、文字を読んだり書いたりするという流れが必要だと思うので、家庭で読まないのであれば、ぜひ、日田市としてどこかに置いておく、子どもたちが読むよう促すという取組をして欲しいなと思いました。</p>
佐々木委員	<p>令和3年ぐらいまでは結構成績が良く、昔から子どもたちが努力しているのはよく分かっていて、それから成績が少し下降したのは、コロナ禍の時期に連動していますね。</p> <p>そうすると、塾に行く、行かないという割合が、コロナ禍で先生たちが思いどおりの授業ができなかった時に、その代わりに塾や家庭教師が担っていて、他は成績がまあまあだったけれど日田市は落ちていったのかなと考えられます。これから平常時に戻って、過去の努力を続けていけば、また成績が戻っていくのではないかという期待がとてもあるので、ぜひ頑張ってくださいと思います。</p>
古田委員	<p>私も佐々木委員と同じです。年々低くなっていく偏差値をストップさせることが先生たちのやりがいにもつながると思うし、学校だけではなく、家庭での環境が小学校・中学校の子どもたちにとって必須だと思うから、家庭の協力をもっといただけたらいい</p>

<p>荒川委員</p>	<p>いなと思います。</p> <p>コロナ禍前もですが、小学校で授業参観に行くと、手を挙げる子は塾に通っている子ばかりです。それもどうなのかなと思ったりもしますし、全国との差というか、そういうものは地方では如実に出てくると思うから、日田市くらいの人口であるからこそ、学力を定着させてほしいし、定着させなければ人口流出にもつながるかもしれないと憂えています。</p> <p>新しい椋野市長も学力のことはすごく言われていたから、市も、先生も、家庭も、市民も一体になって、学力向上に向けて頑張っていけたらいいなと思います。</p> <p>私は英語を専門で教える人間として、ご提案があります。</p> <p>まず、塾のことですけれども、子どもたちに中学校の状況を聞いてみると、単語が読めない子が中3になってもいるよという話です。できる子は長文が読めるので、できる、できないの二極化になっていて、先生がせっかく教えてくださる授業が、できない子はどうしても集中できない状態を生んでいるのではないかと思います。</p> <p>高校生に聞いてみたら、高校では基礎編と発展編という2つのクラスがあるそうです。数学・算数も同じですけれども、足し算や引き算ができないと、掛け算や割り算はできませんよね。</p> <p>英語もbe動詞ができないとその先の文法へ進まない、そこからつまづいている子がいるから、そこを救ってあげない限りは、この状態は続くのではないかという子どもたちの感想を聞きました。</p> <p>それで、中学校でも、もし人員に余裕があり、地域の人を活用できるのであれば、基礎と発展に大まかではありますが、分けることもあるのかなと思います。</p> <p>数学・算数を支援する地域の人たちがいると言っていましたけれども、できることがあれば力になりたいなと思っているところです。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>大変ありがたいご提案です。</p> <p>現在の中学校、小学校もそうですが、習熟度別という学級で、同じ内容ですが一つは少し難易度を上げる、一つは基礎的なことを学習するという取組は行われておりますので、そういった習熟度別という学習の定着状況に応じた学びについては、中学校の英語部会と何か現状に応じた学習の工夫ができないかと話をしていきたいと思います。</p>

<p>諫 本 委 員</p>	<p>その際にもし講師が必要になったということであれば、宜しく お願いいたします。</p> <p>先ほど私が言ったことと少し相反する話ですけれども、今年の 4月か5月の校長会のときに、私が映画のチラシを配ったと思 います。今年は、夢みる校長先生という同じシリーズの映画があ りました。</p> <p>どちらも同じ学校が出ていて、学校にスポットを当てるか、校 長先生に当てるかという違いだったのですけれど、どちらも実 験型授業というのですか、そういう授業を取り上げてやってい て、校則を無くした、宿題を無くした、通知表を無くしたとい う学校の話です。</p> <p>文科省でも認められていることで、わざわざ通知表を発行しな ければならないということではなく、先生にとっては通知表がな ければ、それに費やす時間を子どもたちに目を向ける時間にでき たとか、映画を見るといいことばかり見えてくるのです。いろ いろな可能性があるという話だと思うのですが、今の校則、宿 題、通知表等が変われば、先生の時間はすごく楽になります よね。</p> <p>教えることも大切ですが、先生たちは子どもたちに関わっ ていくということをやりたいから教師になった方が多いと思 うのです。</p> <p>なので、すぐできる話なのかどうか、やるのが良いのかも 含めて、私は分かりませんが、機会があったら、考えてみる 価値のあることだと思うし、子どもたちはすごく生き生きして いました。</p> <p>自分たちがやりたいことをやるので、自分たちで考えて、い ろんなことを調べて、その中で国語・算数・社会・理科など、い ろんなことも覚えていくという内容ですけれど、自分たちが思 ったことを自分で考えてやろうとすると、集中して全部身に付 いていきますよね。</p> <p>統一テストや学校の定期テストの比較は、点数が良いか悪 いかはどうしても気を取られてしまって、その結果をどうし ようかということに頭と時間を取られてしまう。</p> <p>それよりも、子どもたちに目を向ける時間の方が大切なの ではないかという内容で、それが全国にある公立校でも都会 の大規模校でもできているという話でした。</p> <p>機会があったら先生方にも見ていただいて、自分たちの これからの学校作りや教員としての考え方などの参考になる のではないかと思います。</p>
----------------	--

木下職務代理者	<p>私も学力調査の結果報告を聞くと、何で中学校で下がるのだろう、学力を上げたいなと思うのですが、上げたいと思う以上に、子どもたちがもう少しいろいろな面で能力が上がることの方がもしかすると大事かもしれないので、参考までにお話をさせていただきました。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>なければ、報告第18号について説明をお願いします。</p>
淡窓図書館長	<p>議案集の13ページ、報告第18号 日田市立淡窓図書館窓口業務等委託業者の選定についてご報告いたします。</p> <p>現在の図書館の窓口業務等の委託期間が令和2年10月1日から令和5年9月30日までとなっていることから、地方自治法施行令の規定に基づき、本年10月1日以降の業務について随意契約を締結するため、本業務に関し提案を求め、最も優れた者と契約を締結することを目的に公募型プロポーザル方式により委託業者の選定を実施したところでございます。</p> <p>1. 目的でございます。司書有資格者の確保による淡窓図書館の利用者サービスの向上を目的として、窓口業務等を民間の専門業者に委託するものです。</p> <p>2. 委託概要ですが、委託期間は令和5年10月1日から令和8年9月30日までの3年間、予算額は3年間で合計1億890万円です。委託内容は、本の貸出・返却、レファレンス等のカウンター業務等でございます。</p> <p>3. 業者選考につきましては、高倉教育次長を委員長として、委員7名で構成します日田市立淡窓図書館窓口業務等委託業者選定委員会で行いました。</p> <p>4. 選定結果です。7月21日に選定委員会において企画提案書を提出した2社によるプレゼンテーションに基づき、ヒアリング審査会を実施し、各社から窓口業務全般、業務実施体制、利用者サービス向上策などの提案内容の説明を受け、審査した結果、14ページになりますが、株式会社図書館流通センターを委託候補者として決定いたしました。</p> <p>審査評価項目の内容につきましては、15ページ以降に記載の内容でございます。</p> <p>当該事業者は、現在の窓口業務の受託事業者でございまして、九州管内では福岡市総合図書館など3館、県内では大分県立図書館など3館を受託しております。</p> <p>業務委託締結日は、令和5年10月1日でございます。</p>

木下職務代理者	<p>報告第18号につきましては、以上でございます。</p> <p>ただいまの報告につきまして、何かご質疑はございますでしょうか。</p>
荒川委員	<p>金額についてご質問です。</p> <p>3年間で約1億1,000万円、1年間に約4,000万円で、1か月300万円以上となりますが、これはサービス業務のみでしょうか。</p> <p>本代が入っているのですか。結構高いなと思いました。</p>
淡窓図書館長	<p>内容につきましては、窓口業務に係る人件費が主なものでございまして、本代等につきましては、市の公費で購入しております。</p> <p>現在、委託事業者のスタッフが9名おまして、1日に平均しますと6名、あるいは7名が出勤しております。図書の貸出・返却、館内の整理、それから窓口でのコピーや本の問合せなどに対する対応、レファレンスサービスという言い方をしますが、そういった業務や館内の環境整備、巡回での管内状況の確認などを行っております。</p>
木下職務代理者	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、報告事項につきましては以上となります。</p> <p>次に、その他についてお願いいたします。</p>
教育総務課長	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>9月期の定例教育委員会は、9月27日水曜日13時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p>
木下職務代理者	<p>9月期の定例教育委員会の日程は、ただいま説明のとおり、9月27日水曜日ということでございますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、そのようにお願いいたします。</p> <p>その他何かございませんか。</p> <p>ご意見がなければ、8月定例教育委員会を閉会いたします。</p> <p>お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時05分</p>